

地域人材ネット

体験活動を通じた次世代支援

大久保 大助 (おおくぼ だいすけ)

特定非営利活動法人 KID's work 代表理事
九州ユースワークカレッジ 校長



○ 登録者情報

所在地

福岡県北九州市

略歴

1974年北九州市生まれ。大学在学中の少年自然の家のボランティアをはじめ、北アイルランドのシュタイナーコミュニティでの活動やJICA草の根技術協力事業でのバヌアツ共和国ツツナ島村落開発事業に携わるなど、国内外での様々なボランティア活動経験を通して、子ども時代の豊かな体験活動の必要性を強く感じ、2009年KID's workを設立しました。子どもたちの「考える力」「決める力」「行動する力」を育むことを目的に、北九州市内で、キャンプや通学合宿などの体験活動を実施しています。また、ボランティアとして活動に参加してくれた若者との出会いをきっかけに、2011年より若者支援事業にも着手し、着ぐるみを活用した「ゆるきゃらプロジェクト」や「門司港セルフリノベーションプロジェクト」などプロジェクト型の活動を展開、2016年九州ユースワークカレッジを設立し、社会参加のため若者に必要な力を育むための事業や啓発事業を展開しています。2015年には、文部科学省主催「日独青少年指導者セミナー」派遣団員に選ばれ「困難を抱える青少年などの支援～学校から社会への移行～」をテーマにドイツの3都市14施設を周りました。内閣府「子どもと家族・若者応援団表彰」内閣府特命担当大臣賞受賞(2014)。

著書・論文等

毎日新聞 西部本社版 地域面コラム(2015年4月～2017年9月)

くらしQ(くらしQプラス) 子育て日和

毎月1回(計26回)コラムの執筆を担当した。コラムタイトルは、「体験で得る学びを」「リスクあつての学び」

「自ら育つ環境とは」「次世代への責任とは」「体験通じ生きた言葉を」などであり、子どもの育ちについてまとめました。

(<https://mainichi.jp/ch151135325i/%E5%AD%90%E8%82%B2%E3%81%A1%E6%97%A5%E5%92%8C>)

○ 体験活動を通じた次世代支援

取組の内容

【青少年健全育成・次世代育成】

□離島でのキャンプや通学合宿では「不便なくらしの体験」を、子どもたちがグループで主体的に取り組むことのできる場づくりを行っています。また、こうした事業の卒業生(中高生)に対して、キャンプスタッフとして研修を行い、役割を担ってもらうことも併せて行うことで、次世代育成を行っています。

【若者自立支援】

□ひきこもり経験のある若者を対象に「体験活動」と「心理学(交流分析)」のプログラムを少人数グループで実施することで、社会参加に必要な意欲とスキルを育む取組を行っています。また、ひきこもりという社会課題の理解を促すための啓発活動も行っています。

【人材育成の取り組み】

□上記の実践を基に、社会教育・次世代育成・若者支援・防災等での講演やワークショップを行っています。

(グループワーク・ファシリテーション・講座(事業)の企画・プレゼンテーション・事業の紹介等)



ユースワークカレッジ(遠足)



ユースワークカレッジ(パペットワーク)

実績

□自主事業参加者 7,081名(2009年～2018年:延べ人数) 事業費 3,286,358円(2017年)

□行政との協働事業

青少年健全育成・次世代育成事業

【北九州市NPO協働提案モデル事業】

「小学生の生活における体験活動(生活体験)に関する調査」(2012年)事業費 740,000円
アンケート調査:約2,400人 実技調査:48名 調査報告書:60,000部(市内小学校に配布)

「こどもの体験活動を担う青年リーダー育成事業」(2013年) 事業費 929,830円

事前研修 4回 実地研修 7日 事後研修 10回 事業企画 7回 事業運営 3回 参加メンバー数 15名

【北九州市環境未来都市推進支援事業】※協議体として実施

「外遊び環境づくりを通じた、子どもが育つ関係づくり事業」事業費 651,418円

プレイパーク:参加者505名 リーダー研修2回

「外遊び・体験活動の理論と実践を通じた、子どもが育つ環境づくりのための広報、啓発事業」(2016)

事業費 1,191,366円 勉強会の実施:5回137名 プレイパーク:参加者240名

啓発用パンフ:80,000部(市内小学校・幼稚園・保育園に配布)

若者自立支援事業※協議体として実施

福岡県共助社会づくり事業「社会参加に困難を抱える若者のための実践型プログラム事業」(2012)

「チャレンジショッププロジェクト」:ひきこもり経験をもつ若者とともに模擬店の出店を通して社会スキル等を学ぶ

事業費 2,952,000円 研修会(ミーティング・PC・接客講座等)18回 実践3日 参加メンバー数16名

延295名

ふくおか地域貢献サポート事業「社会参加のための門司港セルフリノベーションプロジェクト」(2015)

空き家のセルフリノベーションを行い、社会的居場所・活動拠点づくりを行いました。

事業費 544,348円 ワークショップ7回 参加メンバー数5名 延25名



防災講座



馬島キャンプ



馬島キャンプ



馬島キャンプ



通学合宿

工夫した点や苦勞した点

- ・子どもの活動では、活動自体をシンプルに、かつ子どもたちが主体的に取り組むことができるようなプログラムにしました。また、子どもと接する中高生リーダーのみなさんにこうした考えを浸透させるため、研修を行い意思統一を図りました。
- ・参加者募集をチラシで行っているため、チラシの「導線」を考え、手に取ってもらえる、読んでもらえる工夫をしました。
- ・若者支援の活動では、若者の「身辺自立」と「社会参加」をイメージしたプログラムを行っています。「やってみよう」と思ってもらえる入口をつくり、楽しく活動してもらい、ふりかえりをすることで日常生活へフィードバックできるよう構成しています。

ひとことPR

現代社会において、子ども・若者の「体験」の重要性は、「学力」問題に比べ、課題としての扱いは小さいと感じています。しかしながら、「体験活動」は子ども・若者のよりよい人生のための基盤であり、かつ、子ども・若者時代に生じる、対人、対社会的な課題の「予防的」な取り組みでもあるのです。これから、変化の激しい時代、不確定な時代、答えのない(見つけにくい)時代を生きていく子ども・若者に必要なのは、「体験」を通じて、自ら「考え」「決め」「行動」することが必要だと感じています。

○ 参考

取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

1	地域経営改革		7	まちなか再生
2	地場産品発掘・ブランド化	○	8	若者自立支援
3	少子化対策		9	安心・安全なまちづくり
4	企業立地促進		10	環境保全
5	定住促進	○	11	その他(青少年健全育成・次世代育成)
6	観光振興・交流			

関連ホームページ

KID's work HP	http://www.kidswork.jp
KID's work FB	https://www.facebook.com/kidsworks/
九州ユースワークカレッジ HP	http://kyusyu-workcollege.jimdofree.com/

連絡先

メールアドレス	daisuke.kidswork[アットマーク]gmail.com	その他	
---------	-----------------------------------	-----	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。